

令和2年度山梨県ふるさと納税充当事業成果報告書

令和2年度にいただきましたご寄附は、下記の取り組み（5分野10事業及び3プロジェクト7事業）に活用いたしました。

【分野1 ふるさとの水を育む森林保全に関する取り組み】

○自然公園美化推進事業

本県の山岳観光地である南アルプス地域（国立公園・県立自然公園）、八ヶ岳地域（国定公園）、秩父多摩甲斐地域（国立公園）を清浄な環境に保ち、自然景観を保護するため、自然公園内の登山道等の清掃及び整備活動、除草活動等に対して助成しました。



○やまなし「水」ブランドプロモーション事業

本県の豊かで良質な「水」の魅力を全国に向けてPRするため、「水」に関連した地場産品や観光情報などの広告と、山梨県の「水」の良さを認め、東京から県内に移住・移転した日本料理人と知事が山梨県の「水」の魅力について対談した記事を経済雑誌（日経ビジネス、令和3年1月25日2075号）に掲載しました。



○松くい虫等総合対策事業

本県の観光地や景勝地等の景観を構成する大切な存在の一つであるアカマツ。このアカマツが枯れる原因となるマツノザイセンチュウの侵入、増殖を防ぐため、マツの幹に薬剤を注入（樹幹注入）し、松くい虫の被害を未然に防ぐための対策を行っています。令和2年度の樹幹注入による予防事業は、昇仙峡（甲府市・甲斐市）、万力公園（山梨市）、塩の山（甲州市）、諏訪の森（富士吉田市）、剣丸尾（富士河口湖町）において、延べ2,212本のアカマツを対象に実施しました。



○種苗林木育種事業

一粒の種子から芽生えた小さな苗木がやがて大きな木となり森が形づかれます。山梨の豊かな森の風景を未来に残し、また木材資源を絶え間なく生産する場として森を活用していくために、種子は欠くことのできない基本的存在です。

本県では、「小淵沢」（北杜市）、「切久保」（南部町）、「富士山」（富士吉田市）など6ヶ所に県が保有する採種園（優良な種子を採取する場所）のほか県内各地から採取した種子を、県内の苗木生産者の方へ供給しています。令和2年度はこの事業により、これら採種園の管理（下草刈り9.8haほか）や種子の採取（110.5kg）などを行いました。



【分野2 富士山の保全、環境美化に関する取り組み】

○富士山世界遺産センター運営事業

富士山の顕著な普遍的価値の普及啓発及び保存管理の拠点である富士山世界遺産センターにおいて、企画展の開催、教育旅行の受入、富士山の総合学術調査研究の実施及び発表等を行い、世界遺産富士山の後世への継承に向けた取り組みが進みました。



【分野3 ふるさとの青少年育成に関する取り組み】

○八ヶ岳少年自然の家キャンプセンター耐震改修等工事

県立八ヶ岳少年自然の家は、恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自律、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ、心身ともにたくましい少年を育成することを目的に設置された青少年教育施設です。施設のうち、利用者が屋外でキャンプ体験をする際に使用するキャンプセンターにおいて、耐震改修等工事を実施したことにより、多くの子どもたちが安心かつ快適に利用できる環境を整備しました。



【分野4 ふるさと福祉向上に関する取り組み】

○子育て支援人材育成強化事業

子育て家庭の不安軽減を図るとともに、子育て支援関係者の資質向上やネットワーク強化を図るため、『「コロナ禍」の今、私たちができる子育て応援』と題したオンライン交流セミナーを開催しました。



○産前産後ケアセンター利用費補助事業

令和2年度は、安心して利用していただけるよう新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、延べ281組のお母さんとお子さんに、宿泊型産後ケアをご利用いただきました。利用者へのアンケート調査でも、非常に高い満足度をいただいております。多くのお母さん方の子育てに対する不安軽減に役立っています。



○産休・育休明け保育推進事業費補助金

1歳児を担当する保育士を加配している保育所等に対して支援を行い、親の産休・育休期間が終了した乳幼児の円滑な保育所入所を進めることによって、地域社会の要望に即応した保育体制を確立し、児童福祉の向上を図りました。



【分野5 高校教育の充実に関する取り組み】

○公立高等学校等入学準備サポート事業費

高校生の就学に対する国の経済的支援に加え、県独自の給付金制度を創設し、経済的に余裕のない世帯の負担軽減を図りました。

- 支給対象 高校への入学準備に必要な経費 ①制服 ②体育着 ③上履き ④体育館履き
- 支給額 一人50,000円
- 支給実績 令和2年度：393人（支給額19,650千円）
- 受給者アンケート結果 回答者 251名（回答率：63.7%）
・役に立った 245名（回答者の約97.6%）

【プロジェクト1 人と動物の共生社会推進プロジェクト】

○人と動物の共生社会推進事業（ミルクボランティア）

県に搬入される子猫の多くが健康面、体力面で弱々しく、直ちに譲渡することが困難です。行政機関における育成も限界がある中で、譲渡に適した体力が確保できるまで子猫を育成するボランティアを募集しました。

個人20名、団体2団体の登録をいただき、93匹の育成を委託し、87匹の譲渡へとつなげることができました。



○人と動物の共生社会推進事業（不妊・去勢手術費助成制度補助金）

県に搬入される子猫の殆どが飼い主のいない猫から生まれています。また、飼い主のいない猫は地域におけるふん尿や鳴き声などの環境問題にも関係しています。各市町村が実施している不妊・去勢手術の助成制度を飼い主のいない猫にまで拡充するよう働きかけ、その制度への補助金の交付を行い、42匹の不妊手術、13匹の去勢手術に活用されました。



○動物愛護週間事業

動物愛護の普及と適正飼養の理解を広めるため、例年動物愛護週間の期間にイベントを開催しております。令和2年度は新型コロナウイルス感染症まん延下のため、イベントが実施できませんでした。そこで、啓発に関わるポスターなどの掲示物を作成し、動物愛護指導センターや県立図書館において、展示による普及活動に活用しました。



【プロジェクト2 子どもの貧困対策推進プロジェクト】

○やまなし子どもの貧困対策広域的活動拠点設備整備事業費補助金

県内で広域的に子どもとその親の食料・生活用品等の支援を行っているNPO法人等に対して、企業等から御寄付いただいた支援品を各支援家庭用に仕分けをするために必要な大型備品の購入費用の一部を助成しました。



【プロジェクト2 子どもの貧困対策推進プロジェクト】

○やまなし子どもの居場所づくり推進事業費補助金

子どもたちの様子を見守り、困りごとを抱えた子どもとその親の支援といった役割を期待されている子ども食堂や子どもの学習支援事業といった「子どもの居場所」を運営するNPO法人に対し、県と市町村が実施施設の環境改善のための費用支援を行いました。



○私立高等学校入学準備サポート事業

私立高等学校へ進学する、経済的に余裕のない世帯の負担軽減を図るため、国の経済的な支援に加え、県独自の就学支援制度を設け、134人へ給付金を支給しました。

【プロジェクト3 富士山クリーンアッププロジェクト】

○富士山クリーンアップ事業

富士山麓の環境美化のため、NPO等が主体となり、不法投棄により長時間放置されている産業廃棄物の撤去活動を支援しています。認定特定非営利活動法人富士山クラブが主体となり、8月～12月までに、感染症対策を行い、計16回撤去活動を実施しました。

- ・重機を使用し、土中からごみを掘り出す作業
- ・ボランティア計163人が参加、徹底的な分別・撤去を実施し、約6.5tの廃棄物を処理

上記事業を実施したことで、不法投棄の未然防止の普及・啓発が図れました。



今後とも山梨県への温かいご支援をよろしくお願いいたします。

< 成果報告書のお問い合わせ先について >

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

山梨県リニア未来創造局二拠点居住推進課 地域政策・人口戦略担当

電話 055-223-1841 (直通)

E-Mail nikyoten@pref.yamanashi.lg.jp

URL <https://www.pref.yamanashi.jp/furusato-tax/index.html>